

構造改革特別区域計画 新旧対照表

旧	新
1. ～4. (略)	1. ～4. (略)
5. 構造改革特別区域計画の意義・目標	5. 構造改革特別区域計画の意義・目標
(1) (略)	(1) (略)
(2) 熊本県立技術短期大学校と <u>国立大学法人熊本大学</u> の取組み	(2) 熊本県立技術短期大学校と各大学_____の取組み
_____	ア <u>熊本県立技術短期大学校</u>
熊本県立技術短期大学校（以下「技大」という）では、1997 年（平成 9 年）の開校以降、「熊本県産業の高度化、高付加価値化に対応できる高度な技能及び知識を兼ね備えた実践技術者を育成し、熊本県の経済社会の発展に寄与する」を基本理念とした学生の育成を行っており、修了生はこれまでに 2,000 人を超え、そのうち 700 人程度が半導体関連の企業に就職している。	熊本県立技術短期大学校（以下「技大」という）では、1997 年（平成 9 年）の開校以降、「熊本県産業の高度化、高付加価値化に対応できる高度な技能及び知識を兼ね備えた実践技術者を育成し、熊本県の経済社会の発展に寄与する」を基本理念とした学生の育成を行っており、修了生はこれまでに 2,000 人を超え、そのうち 700 人程度が半導体関連の企業に就職している。
(略)	(略)
_____	イ <u>国立大学法人熊本大学</u>
国立大学法人熊本大学工学部（以下（熊大工学部）という）は、明治 30 年に旧制第五高等学校工学部として創設されて以来、卒業生はこれまでに 4 万名弱を数え、国内外の様々な分野で活躍しており、近年世界をリードする研究業績も数多く発表されているばかりでなく、自然科学に対する深い洞察力と豊かな独創性を身につけた高級技術者の育成が図られている。	国立大学法人熊本大学工学部（以下（熊大工学部）という）は、明治 30 年に旧制第五高等学校工学部として創設されて以来、卒業生はこれまでに 4 万名弱を数え、国内外の様々な分野で活躍しており、近年世界をリードする研究業績も数多く発表されているばかりでなく、自然科学に対する深い洞察力と豊かな独創性を身につけた高級技術者の育成が図られている。
(略)	(略)
_____	ウ <u>学校法人東海大学</u>
_____	学校法人東海大学（以下（東海大）という）は 1942 年に創立されて以来、北海道から九州まで全国各地にキャンパスを展開する総合大学に発展し、常に教育改革を推進し、最新の研究に取り組んでいる。創立時より「文理融合」の教育理念のもと、専門知識に偏らず、幅広い

	視野と柔軟な発想力を持つ人材の育成を目指し、45 万人以上の卒業生が国内外で活躍している。各学部学科における専門教育に加え、ものづくり、地域活性化、国際交流など学生が自主的に企画したプロジェクト活動（チャレンジプロジェクト）を支援し、社会的実践力を身につけた人材を育成している。さらに、海外研修航海やキャンパス間留学など、全国に展開する総合大学の強みを活かした独自の教育プログラムも実践している。 熊本県には文理融合学部と農学部の 2 学部が設置され、このうち、熊本キャンパスにある文理融合学部・人間情報工学科では、工学系学科として情報工学、環境工学、医療工学を横断的に学び、自然と調和した快適で健康的な生活環境を構築する技術者の育成を目指している。人間情報工学科のカリキュラムでは、低学年時は文理横断型の「地域ソリューション科目群」から地域の諸問題を文・理の枠を超えて多面的に理解する力を身につけるとともに、学科共通の「理工学基礎」と「電気電子工学」系の科目を学ぶことで専門教育に必要な基礎力を修得する。2 年次以降は「情報工学」「環境工学」「医療工学」の専門科目を履修しながら、ゼミナールや卒業研究への取り組みによって各分野における専門知識と技術を身につける。特に、コンピュータサイエンスや半導体工学については基礎から応用まで幅広く学ぶことができるカリキュラムを構成している。これらの学びを通して、地方における諸問題を複合的な視点で捉え、情報工学・医療工学の知識と技術で解決する能力を養成する。 カリキュラムにおける実技（実習・演習・実験）科目の時間数は総単位数の約 10%と少ない状況であるが、プログラミングや人工知能など情報工学系の科目では、講義でも演習や実習を織り交ぜて理解度を深める授業も多い。さらに、3 年次後半よりゼミや卒業研究に取り組むことで、座学で学んだ専門知識を深め、実践力を身につけることができる。
--	--

(3) 本計画の目的

本計画の目的は、技大において基礎的な専門知識と実技に基づいた実践力を、熊大工学部において高度な専門知識に基づいた技術開発力やマネジメント力を身に着けた高度技術者を育成することにある。すなわち、技大において、自動生産システムの設計製作や、電子工学、情報工学の技術開発、システム構築といった実践的な技術力を習得した修了生が、熊大工学部において、機械工学や数理工学、情報・電気・電子、半導体分野に関する理論や専門知識を学び、

技術開発力やマネジメント力を深化させることにより、高度人材の育成が促進されることで、半導体関連企業の求める人材の輩出に寄与し、熊本県における地域産業の高度化、ひいては国内半導体産業の発展に貢献することができる。

(略)

6. 構造改革特別区域計画の実施が構造改革特別区域に及ぼす経済的社会的効果

構造改革特別区域計画の実施により、技大の修了生が熊大工学部に編入学し、半導体製造及び半導体製造技術に関

表3 学科における卒業までの単位数と実技の割合

学科	専門	総単位数(A)	実技単位数(B)	B/A(%)
人間情報工学科	情報工学	124	6	5
	環境工学	124	6	5
	医療工学	124	14	11

(3) 本計画の目的

本計画の目的は、技大において基礎的な専門知識と実技に基づいた実践力を、熊大工学部及び東海大文理融合学部において高度な専門知識に基づいた技術開発力やマネジメント力を身に着けた高度技術者を育成することにある。すなわち、技大において、自動生産システムの設計製作や、電子工学、情報工学の技術開発、システム構築といった実践的な技術力を習得した修了生が、熊大工学部において、機械工学や数理工学、情報・電気・電子、半導体分野に関する理論や専門知識を学び、又は、東海大文理融合学部において、情報、半導体分野に関する理論や専門知識を学び、技術開発力やマネジメント力を深化させることにより、高度人材の育成が促進されることで、半導体関連企業の求める人材の輩出に寄与し、熊本県における地域産業の高度化、ひいては国内半導体産業の発展に貢献することができる。

(略)

6. 構造改革特別区域計画の実施が構造改革特別区域に及ぼす経済的社会的効果

構造改革特別区域計画の実施により、技大の修了生が熊大工学部及び東海大文理融合学部に編入学し、半導体製造及び半導体製造技術に関する技能・技術を有する実践技術者として輩出されることが期待される。

する技能・技術を有する実践技術者として輩出されることが期待される。 (略) 7. (略) 別紙 1～3 (略) 4. 特定事業の内容 (1) 事業に関与する主体 熊本県立技術短期大学校 国立大学法人熊本大学 (2)～(4) (略) (5)特例措置を受けようとする施設 (名称及び所在地) ①熊本県立技術短期大学校 (住所) 熊本県菊池郡菊陽町原水 4455-1 ②国立大学法人熊本大学 (住所) 熊本県熊本市中央区黒髪 2 丁目 39-1 5. 規制の特例措置の内容 (1)「地域の特性を活かした教育実施の必要性、地域産業を担う人材の育成の必要性その他の特別の事情に対応するための教育及び研究並びに職業訓練」 (法第 14 条第 1 項) であること。	(略) 7. (略) 別紙 1～3 (略) 4. 特定事業の内容 (1) 事業に関与する主体 熊本県立技術短期大学校 国立大学法人熊本大学 <u>学校法人東海大学</u> (2)～(4) (略) (5)特例措置を受けようとする施設 (名称及び所在地) ①熊本県立技術短期大学校 (住所) 熊本県菊池郡菊陽町原水 4455-1 ②国立大学法人熊本大学 (住所) 熊本県熊本市中央区黒髪 2 丁目 39-1 ③<u>学校法人東海大学 (熊本キャンパス)</u> (住所) 熊本県熊本市東区渡鹿 9-1-1 5. 規制の特例措置の内容 (1)「地域の特性を活かした教育実施の必要性、地域産業を担う人材の育成の必要性その他の特別の事情に対応するための教育及び研究並びに職業訓練」 (法第 14 条第 1 項) であること。
---	---

本県では、世界的な半導体不足を背景に、世界最大手の半導体企業の操業開始予定、第2工場の立地決定により、当該企業1社だけでも3,400人以上の先端技術に通じた人材の雇用が見込まれ、実践力を併せ持つ半導体産業に精通した高度人材のニーズが高まっていることから、これらのニーズに応えた人材の輩出に寄与し、地域産業の高度化、ひいては国内半導体産業の発展に貢献するため、本計画の認定を通じ、技大から熊大工学部_____への編入学を実現することが不可欠である。

(2)「職業能力開発短期大学校及び大学が連携して行うことが適切かつ効果的」(法第14条第1項)であること。

(略)

一方、熊大工学部_____では、博士課程前期・後期を見据えた教育を行う4年制大学に共通していることだが、専門分野の基礎知識の修得と工学理論の深い理解や最先端の研究開発を中心としたカリキュラムとなっている。

このため、カリキュラムの中には就職後に必要となる機器・機械設備を利用するための技能とそれに関する知識の習得のための実技(実習・演習・実験)科目の時間数は、技大と比べ著しく少ない状況にある。

そこで、構造改革特区の特例を活用することにより、技大において、自動生産システムの設計製作や、電子工学、情報工学の技術開発、システム構築といった実践的な技術力を習得した修了生が、熊大工学部において、機械工学や数理工学、情報・電気・電子、半導体分野に関する理論や専門知識を学び、_____

技術開発力やマネジメント力を兼ね備えた人材を継続的に育成・輩出できるようになる。このように、大学校と大学が連携して半導体関連企業の求める人材の輩出に寄与する高度人材育成モデルを確立することができ、熊本県における地域産業の高度化、ひいては国内半導体産業の発展に貢献することが可能となる。

本県では、世界的な半導体不足を背景に、世界最大手の半導体企業の操業開始予定、第2工場の立地決定により、当該企業1社だけでも3,400人以上の先端技術に通じた人材の雇用が見込まれ、実践力を併せ持つ半導体産業に精通した高度人材のニーズが高まっていることから、これらのニーズに応えた人材の輩出に寄与し、地域産業の高度化、ひいては国内半導体産業の発展に貢献するため、本計画の認定を通じ、技大から熊大工学部及び東海大文理融合学部への編入学を実現することが不可欠である。

(2)「職業能力開発短期大学校及び大学が連携して行うことが適切かつ効果的」(法第14条第1項)であること。

(略)

一方、熊大工学部及び東海大文理融合学部では、博士課程前期・後期を見据えた教育を行う4年制大学に共通していることだが、専門分野の基礎知識の修得と工学理論の深い理解や最先端の研究開発を中心としたカリキュラムとなっている。

このため、カリキュラムの中には就職後に必要となる機器・機械設備を利用するための技能とそれに関する知識の習得のための実技(実習・演習・実験)科目の時間数は、技大と比べ著しく少ない状況にある。

そこで、構造改革特区の特例を活用することにより、技大において、自動生産システムの設計製作や、電子工学、情報工学の技術開発、システム構築といった実践的な技術力を習得した修了生が、熊大工学部において、機械工学や数理工学、情報・電気・電子、半導体分野に関する理論や専門知識を学び、又は、東海大文理融合学部において、情報、半導体分野に関する理論や専門知識を学び、技術開発力やマネジメント力を兼ね備えた人材を継続的に育成・輩出できるようになる。このように、大学校と大学が連携して半導体関連企業の求める人材の輩出に寄与する高度人材育成モデルを確立することができ、熊本県における地域産業の高度化、ひいては国内半導体産業の発展に貢献することが可能となる。

(3)「訓練期間が2年以上であることその他の文部科学省令で定める基準を満たすもの」(法第14条第1項)であること。

技大の訓練課程における訓練期間は2年間であり、その訓練時間数は2826時間である。訓練時間を単位数に換算するために、1単位を18時間として、総訓練時間2826時間に相当する単位数を算定すると、2826時間/18時間=157単位となる。1週間に1コマ授業(2時間)を18週(18コマ:36時間)行なうことで、2単位が修得できるとしている。

これらに基づいて、別添(比較表:熊本県立技術短期大学校の5技術科の科目と熊本大学工学部の編入の対象となる工学科の単位認定表

_____)のとおりに、編入学後、大学の単位として認定できるものである。なお、別添比較表については、文部科学省令で定められた基準に沿って、技大と____との間で協議済である。

また、職業訓練指導員の数、建物面積は別添のとおりであり、いずれも文部科学省令等で定められた基準を満たしている。

(4)(略)

(5)「文部科学省令により、修了した特定高度職業訓練の訓練期間に相当する年数以下の期間を控除した期間を在学すべき期間」(省令第7条第2項)とすること。

別添のとおり、編入学先である熊大工学部____からは、本計画の認定後、その訓練科目について、熊大工学部____への編入学試験合格後、一定程度については単位を認定することが可能である旨の「単位認定を証する文書」を受領しており、修了した特定高度職業訓練の訓練期間に相当する年数を控除し、編入学が可能である。

(6)(略)

(3)「訓練期間が2年以上であることその他の文部科学省令で定める基準を満たすもの」(法第14条第1項)であること。

技大の訓練課程における訓練期間は2年間であり、その訓練時間数は2826時間である。訓練時間を単位数に換算するために、1単位を18時間として、総訓練時間2826時間に相当する単位数を算定すると、2826時間/18時間=157単位となる。1週間に1コマ授業(2時間)を18週(18コマ:36時間)行なうことで、2単位が修得できるとしている。

これらに基づいて、別添(比較表:熊本県立技術短期大学校の5技術科の科目と熊本大学工学部の編入の対象となる工学科の単位認定表、熊本県立技術短期大学校の3技術科の科目と東海大文理融合学部の編入の対象となる人間情報工学科の単位認定表)のとおりに、編入学後、大学の単位として認定できるものである。なお、別添比較表については、文部科学省令で定められた基準に沿って、技大と各大学____との間で協議済である。

また、職業訓練指導員の数、建物面積は別添のとおりであり、いずれも文部科学省令等で定められた基準を満たしている。

(4)(略)

(5)「文部科学省令により、修了した特定高度職業訓練の訓練期間に相当する年数以下の期間を控除した期間を在学すべき期間」(省令第7条第2項)とすること。

別添のとおり、編入学先である熊大工学部及び東海大文理融合学部からは、本計画の認定後、その訓練科目について、熊大工学部及び東海大文理融合学部への編入学試験合格後、一定程度については単位を認定することが可能である旨の「単位認定を証する文書」を受領しており、修了した特定高度職業訓練の訓練期間に相当する年数を控除し、編入学が可能である。

(6)(略)